

日本映画衛星放送株式会社 第31回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 25 年 1 月 8 日 (火) 16 時 ~ 17 時
2. 開催場所 : 東京都港区赤坂 2 - 17 - 22 赤坂ツインタワー東館 15F
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8 名 / 出席委員数 7 名
出席委員 (順不同、敬称略): 菊地 実・川本 三郎・坂井 保之・鈴木 嘉一・
曾根 和子・鳥居 美砂・西 正
欠席委員 (敬称略) : 田保橋 淳
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 杉田 成道
常務取締役 酒井 彰
編成制作部部長 宮川 朋之
編成制作部担当部長 澤 尚志
放送・運行技術部マネージャー 和田 徹
番審担当 堤 靖芳
清水 明(記)

4. 議題 (1) 審議事項

- 「日本映画専門チャンネル」における聴覚障がい者向け放送について。
(2) 「時代劇専門チャンネル」オリジナル本格時代劇『新・御宿かわせみ』制作決定について。

5. 議題 (1) 概要

日本映画専門チャンネルでは、現在放送中の全番組にクローズドキャプションを付けている。今回審議に先立ち、字幕放送作品の例として、2012 年 12 月編成映画『鶴八鶴次郎』(1938 年 長谷川一夫・山田五十鈴主演、成瀬巳喜男監督作品) と、字幕放送の実施を告知するミニ番組を委員の方々にご覧いただき、字幕放送をはじめとする聴覚障がい者向け放送についてご審議いただいた。出されたご意見については、今後の聴覚障がい者向け放送をしていく指針として、参考とさせていただく予定である。

6. 議題(1) 審議内容

- ・細かいセリフまで理解でき、作品がよく分かった。
字幕の告知するミニ番組については、どのぐらいの回数放送しているのか知りたい。
- ・全放送作品に字幕を付けるのは大変な努力を要するが有意義だ。ただ字幕の文字が大き過ぎ、画面がやや見にくい。入れ方をもう少し研究して欲しい。
- ・普段から字幕のある番組は全部字幕付きで見ているが、完璧な字幕で素晴らしい。色分けや行の使い方も良く、位置も字幕頼りに画面を見る人間には、あそこにはないといけな
い。タイミングも良く、本当に見やすい字幕だった。敬意を表したい。
- ・字幕は、表示の工夫がされていて、非常に分かりやすかった。
告知については、リモコンの字幕ボタンについて丁寧に説明されており、非常に良い。
- ・2012年3月から10月までの平均字幕放送率が99.8%というのは素晴らしい。一人でも多
くの方に見てもらいたいという気持ちの表れだろう。
字幕放送の告知については、シニア層にはナレーションが速過ぎると思った。
- ・日本人はそもそも識字率が高く、字幕文化とでもいったものが戦前から定着しており、
抵抗感がない。また、セリフが聞こえていても分からない時もあり、大きな意味がある。
セリフは全部逐語訳で字幕化しているのか。手話放送率は何故現在0%なのか。
- ・字幕放送を普段利用する機会が無く、慣れが必要だと思った。字幕放送に関して否定的
な意見はないのか。
- ・ユニバーサルデザインという考え方があり、健常者も障がい者も一緒に使えるというデ
ザイン・コンセプトで、字幕はその一つだ。潜在顧客が、字幕によって顧客化出来る可能
性が広がる。また、これからシニア層が増え、字幕放送の取り組みは重要だ。
字幕放送については、総務省が助成しているが、助成を受けているか。

< 事業者回答 >

- ・告知については、12月から放送を始めて、1日8回ぐらい組んでいる。これから少しず
つ増やして、字幕放送を更に周知していきたい。
- ・字幕制作は完全逐語訳しないと、著作権の問題が出る。要約や意識は、同一性保持権を
侵す。手話放送だと逐語訳出来ず、映画やドラマには適さない。
- ・字幕放送はクローズドキャプション。字幕ボタンを押さないと表示されないの
で、画面を汚すといったような否定的な声はあがっていない。
- ・総務省から字幕の助成を我々も受けているが、制作費の4分の1にも満たない。
- ・字幕放送を始めてからいただいた反響の殆ど100%が「ありがとう」「良かった」とい
う評価。一番嬉しかったのは「耳の遠いおじいちゃんも交えて、久しぶりに家族団
楽でテレビが見られた」という視聴者の声。そんな意味では、字幕はまさに、ご指
摘の通りユニバーサルデザイン。実施して良かった。

7. 報告事項

時代劇専門チャンネルにおけるオリジナルドラマは、『鬼平外伝』シリーズを今まで3作品制作してきた。京都での時代劇制作はこのまま継続していきたい。しかし、池波正太郎以外の世界観もオリジナル時代劇として創出できないかと考え、この度NHKエンタープライズとコラボレーションして、『新・御宿かわせみ』という番組を制作することにした。BSスカパー！で先行放送した後、時代劇専門チャンネルで本放送となる。『鬼平外伝』シリーズとは違う路線で、豪華キャストの明るいホームドラマを狙っている。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、2013年3月12日開催。 (以上)